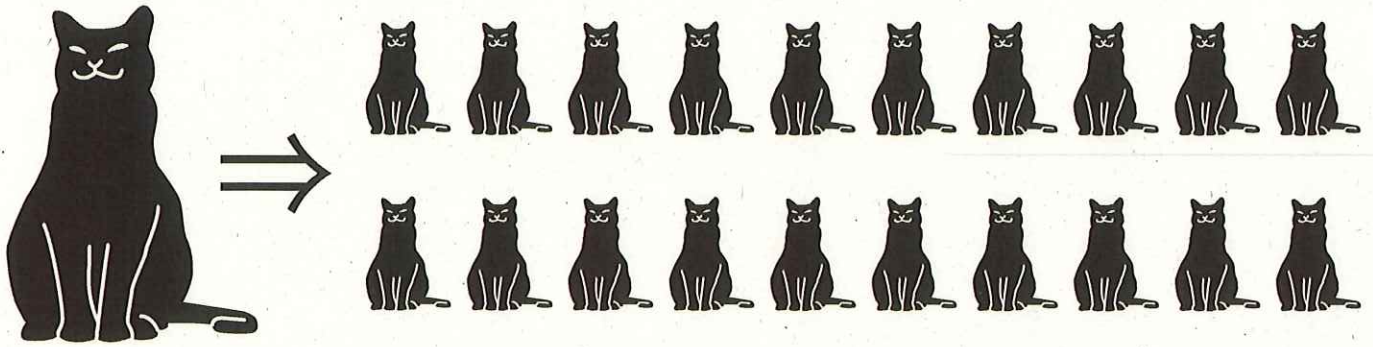


ネコのメス **1** 匹が **20** 頭以上 1年間で生む子猫



子が孫を生み3年間で**2000**頭以上に

※試算上の数値です。実際には環境的要因により増減することがあります。

なぜ？

- 一度の出産で4～8頭生まれます
- メスの子猫は生後4～12ヶ月で繁殖できるようになります。

ネコが増えすぎるといどんな問題が！

- かわいそうな捨て猫が増えてしまう
- 騒音や糞尿等、私たちの暮らしの衛生環境が悪くなってしまう
- 人や家畜動物にマダニや伝染病等の被害が起きてしまう

ネコが増えすぎないように出来ること

- 猫の避妊・去勢を行いましょう
- 外にいる猫へのみだりな餌やりはやめましょう
- 猫の放し飼いはやめましょう

猫の糞から感染する トキソプラズマを 知っていますか？

トキソプラズマは猫・牛・豚・鶏・ヤギなどの体内に寄生する「**原虫**」のことです。人も経口摂取で感染します。妊婦がトキソプラズマに感染すると、胎児が先天性トキソプラズマ症を発症し、**眼や脳に障害**が生じたり、**流産**に至る可能性があります。特に猫の糞に含まれるトキソプラズマは、土や水の中で何ヶ月も残り続けます。つまり、放し飼い猫や野良猫などの外ネコがトキソプラズマを拡散してしまうのです。最近の研究で、徳之島の野良猫の間でもトキソプラズマが広まっていることが判明しました。

※トキソプラズマは世界中で確認されています

徳之島三町の「**飼い猫の適切な飼養及び管理に関する条例**」では、猫が増えすぎるのを防止するために猫の放し飼いは原則禁止としています。また飼い猫以外の猫にみだりに餌をあげることは禁止されています。

子宝の島である徳之島において、人々の健康のため、**放し飼いとみだりな餌やりは絶対にやめましょう。**

徳之島三町ネコ対策協議会